



# 謹んで新春のお祝いを申し上げます

長浜市立湖北病院院長 納谷 佳男



皆様におかれましては、新春を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年度、築40年を迎えた湖北病院の建て替えが決定いたしました。皆様のおかげと深く感謝申し上げます。今年は基本設計に入り、令和9年度に完成を目指しています。新病院の病床数は現在の140床から120床となり、全室個室を予定しております。皆様のプライバシーに配慮した快適な病院にしたいと考えております。全室個室とすることで、新興感染症が流行した際もクラスター発生を抑えることができます。

また、令和5年度から介護老人保健施設湖北やすらぎの里を病院事業に編入し、さらに連携を図りました。湖北やすらぎの里も別館を改修し令和10年から新しい施設で入所定員を現在の84人から90人に、通所リハビリは10人から20人とする予定です。

皆様が安心して地元で暮らし続けることができますよう、医療から介護福祉まで切れ目なく、質の高いサービスを提供できるよう心がけて参ります。

人の集まる病院を目指し、長浜市北部地域の活性化にお役に立ちたいと考えています。

どうぞ、本年もよろしくお願い申し上げます。

